

二学年 国語科 前期期末試験 二〇二二年九月九日(金)

一

次の傍線部のひらがなは漢字で書き、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。
楷書ではつきりとていねいに書くこと。〔一点×20〕(知識)

- | | | | | | |
|----|------------|----|-------------|----|--------------|
| 1 | ねぼうして遅刻する。 | 2 | 神社にさんばいする。 | 3 | 社会ふくしを充実させる。 |
| 4 | せいきんがかかる。 | 5 | 船で商品をゆそうする。 | 6 | えんぴつで書く。 |
| 7 | 食品をはんばいする。 | 8 | ちゅうしゃ場を探す。 | 9 | ぼうえきを自由化する。 |
| 10 | 細菌をばいようする。 | 11 | 知識をちくせきする。 | 12 | らくのうを営む。 |
| 13 | せんきよの投票日。 | 14 | 事前にさっちする。 | 15 | 自給じそく。 |
| 16 | 勉強に励む。 | 17 | 代替エネルギー。 | 18 | 金銭の出納係になる。 |
| 19 | 長い時間を費やす。 | 20 | 殺伐とした雰囲気。 | | |

二

次の文法に関する各問いに答えなさい。

問 一次の各文の傍線部の動詞の活用形を後から選び記号で答えなさい。〔一点×7〕(知識)

- 1 今年も暑い夏が来た。
2 杉浦くんがグラウンドを走る。
3 運動すれば体力もつく。
4 もうすぐ授業が始まる時間だ。
5 大井くんといっしょに帰ろう。
6 及川先生に残さず食べろと言われた。
7 渋滞で車がなかなか動かない。

ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形 オ 仮定形 カ 命令形

問 二次の各文の傍線部の動詞の活用の種類を後から選び記号で答えなさい。〔一点×5〕(知識)

- 1 まぶしく輝く太陽。
2 加茂さんの意見は的を射ていた。
3 秋月くんが大会で優勝する。
4 時間になっても秋葉先生が来ない。
5 窓を開ければ換気ができるよ。

ア 五段活用 イ 上一段活用 ウ 下一段活用 エ 力行変格活用 オ サ行変格活用

問 三次の各文の傍線部は、形容詞と形容動詞のどちらか。後から選び記号で答えなさい。

- 1 複雑に入り組んだ道を歩く。
2 暑かった夏ももうすぐ終わる。
3 坂爪先生が詳しく話してくれた。
4 昔は自然が豊かでした。

ア 形容詞 イ 形容動詞

問 四次の各文の傍線部は、自動詞と他動詞のどちらか。後から選び記号で答えなさい。

- 1 自然とふれあう機会を増やす。
2 人口が二倍に増える。

ア 自動詞 イ 他動詞

問 五次の補助動詞・補助形容詞に関する各問いに答えなさい。〔一点×2〕(知識)

1 次の各文の傍線部が補助動詞であるものを選び、記号で答えなさい。

ア 駅にはたくさんの人がいる。
イ 店内に音楽が流れている。

2 次の各文の傍線部が補助形容詞であるものを選び、記号で答えなさい。

ア 次回はあなたに来てほしい。
イ もう少し時間がほしい。

三 次の文章を読み、後の各問いに答えなさい。

短歌は、千三百年以上前から、日本で作られてきた詩です。五七五七七という定型に、人々はさまざまな思いをこめてきました。季節の変化、人を恋する気持ち、旅の心、人を悼む気持ち、日常の中のさやかなできごと……

古くからあるだけでなく、今も多くの人が短歌を作っています。新聞や雑誌に、短歌の投稿欄があるのを知っていますか。普通の新聞に、普通の人たちが、短歌を作って投稿するのです。これは世界の中でも非常に珍しいことで、短歌は、日本が自慢できる文化の一つとっていいでしょう。

① 短歌の大きな特徴は、短いこと。そしてリズムがあることです。

短いので、多くの言葉を用いることはできません。だから言葉を厳しく選び、磨かなくてはなりません。詩を書くとは、つまりそういうことなのです。

五音七音のリズムは、日本語を心地よく聞かせてくれる魔法のようなものです。このリズムに言葉をのせると、とても調子がよくなることを、短歌を声に出して読むことで実感してみてください。

短歌は、短い詩ですから、全てを説明することはできません。その分、読者が想像力をはたらかせて読むという楽しみがあります。

A 「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ 俵 万智

この短歌を、私は恋の場面で詠みました。状況を全部は説明できないので、寒いねと声をかけ合う人がいることで心が温かくなる、②そのことに絞って表現しました。

恋の歌と受け止めた人も多くいますが、ある人は「家族のやりとり」と捉え、ある人は「旅先での会話」を思い浮かべました。それぞれの読者の心に、それぞれの「あたたかさ」が伝わるのが大切なのです。

(俵万智「短歌の世界」より)

B 観覧車回れよ回れ想ひ出は君には一日我には一生 栗木 京子

「君」と「我」が遊園地でデートしている場面です。観覧車に乗っている二人は、幸せなカップルに見えるかもしれませんが、けれど、作者は感じているのです。相手にとってはたった一日の想い出である今日という日が、自分には一生の想い出となるだろうと。この温度差が、現在の二人の状況を示して、せない恋の歌です。「君」と「我」、「一日」と「一生」という対比が効いていますね。「回れよ回れ」という命令形と繰り返しが、③勢いとリズムを生んでいることなども鑑賞のポイントとなるでしょう。

短歌を作る初めの一步は、心の揺れです。小さなことでも、なにかしら「あつ」と思ったらメモしましょう。五七五七七の定型は、皆さんの言葉を「詩」にしてくれる、心強い味方でもあります。

C くれなるの二尺伸びたる薔薇の芽の針やはらかに春雨のふる 正岡 子規

D その子二十櫛にながる黒髪のおごりの春のうつくしきかな 与謝野 晶子

E みちのくの母のいのちを一目見ん一目みんとぞただにいそげる 斎藤 茂吉

F 草わかば色鉛筆の赤き粉のちるがいとしく寝て削るなり 北原 白秋

G 白鳥は哀しからずや空の青海のあをにも染まらずただよふ 若山 牧水

H 不来方のお城の草に寝ころびて
空に吸はれし

十五の心 石川 琢木

I 列車にて遠く見ている向日葵は少年のふる帽子のごとし 寺山 修司

(「短歌十首」より)

問一 傍線部①「短歌の大きな特徴は、短いこと。そしてリズムがあることです」とあるが、「短いこと」と「リズムがあること」について筆者はどのように述べているか。次から選り記号で答えなさい。
「短いこと」については解答欄1に、「リズムがあること」については解答欄2に答えること。
ア 日本語を心地よく聞かせることができる。 [1点×2] (読む)
イ 三十一音で多くの事柄を伝えることができる。
ウ 言葉を厳しく選り、磨かなくてはならない。
エ 黙読をすることで、リズムの良さを実感できる。

問二 筆者は、短歌を読む楽しみはどのようなところにあると述べているか。次の文の空欄を埋める形で、十五字以上二十字以内で説明しなさい。 [2点] (書く)
・短歌は短い詩で、全てを説明できないから、十五字以上二十字以内に楽しみがある。

問三 傍線部②「そのこと」の具体的な内容を文章中から二十四字で抜き出し、はじめと終わりの三字ずつを答えなさい。 [2点] (読む)

問四 Aの歌は句切れか。次から選り記号で答えなさい。 [1点] (読む)
ア 初句切れ イ 二句切れ ウ 三句切れ エ 四句切れ オ 句切れなし

問五 Bの歌で、「君には一日我には一生」とあるが、これは「君」と「我」の気持ちに何があるからか。文章中から三字で抜き出して答えなさい。 [2点] (読む)

問六 傍線部③「勢いとリズムを生んでいる」とあるが、この「勢いとリズム」は何によって生まれていると筆者は述べているか。文章中から抜き出して答えなさい。 [2点] (読む)

問七 筆者は、短歌を作るためには、どうすることを読者にすすめているか。「心の揺れ」「定型」という言葉を必ず使って、三十五字以上四十字以内で書きなさい。 [3点] (書く)

問八 Cの歌について、次の問いに答えなさい。
1 歌の中で四度使うことでリズム感を生み、印象を強めているひらがなを一字で答えなさい。 [1点] (読む)
2 「やはらか」なのは何か。一字と二字で二つ抜き出して答えなさい。 [1点×2] (読む)

問九 D・Eの歌で使われている表現技法をそれぞれ次から選り記号で答えなさい。 [1点×2] (知識)
ア 反復 イ 倒置法 ウ 擬人法 エ 比喩 オ 字余り カ 字足らず

問十 Eの歌には、作者のどのような思いが込められているか。「母」「一目」という言葉を必ず使って、二十五字以上三十字以内で書きなさい。 [3点] (書く)

問十一 Fの歌で対比されている色の組み合わせを次から選り記号で答えなさい。 [1点] (読む)
ア 白と青 イ 緑と青 ウ 白と赤 エ 緑と赤 オ 緑と白 カ 青と赤

問十二 Gの歌で、作者は白鳥のどのような姿を見て「哀しからずや」と表現したのか。歌の中から七字で抜き出して答えなさい。 [2点] (読む)

問十三 Hの歌の「十五の心」とは何か。最も適切なものを次から選り記号で答えなさい。 [2点] (読む)
ア 十五種類の様々な感情 イ 十五人の団結した意志
ウ 十五回変化する気持ち エ 十五歳の夢や不安

問十四 Iの歌は比喩が使われているが、何を何にたとえているか。三十字以上三十五字以内で書きなさい。 [3点] (書く)

四 次の文章を読み、後の各問いに答えなさい。

身体疲労すれば、精神もともにやられる。もう、どうでもいいという、勇者に不似合いなふてくされた根性が、心の隅に巣くった。私は、これほど努力したのだ。約束を破る心は、みじんもなかった。神も照覧、私は精いっぱいに努めてきたのだ。動けなくなるまで走ってきたのだ。私は不信の徒ではない。あ、できることなら私の胸を断ち割って、真紅の心臓をお目につけたい。愛と信実の血液だけで動いているこの心臓を見せてやりたい。けれども私は、この大事なときに、精も根も尽きたのだ。私は、よく不幸な男だ。私は、きつと笑われる。私の一家も笑われる。私は友を欺いた。中途で倒れるのは、初めから何もしないのと同じことだ。ああ、もう、どうでもいい。これが、私の定まった運命なのかもしれない。セリヌンティウスよ、許してくれ。君は、いつでも私を信じた。私も君を、欺かなかった。私たちは、本当によい友と友であったのだ。一度だって、暗い疑惑の雲を、お互い胸に宿したことはなかった。今だって、君は私を①無心に待っているだろう。ああ、待っているだろう。ありがとう、セリヌンティウス。よくも私を信じてくれた。それを思えば、たまらない。友と友の間の信実は、この世でいちばん誇るべき宝なのだから。セリヌンティウス、私は走ったのだ。君を欺くつもりは、みじんもなかった。信じてくれ！ 私は急ぎに急いでここまで来たのだ。濁流を突破した。山賊の囲みからも、するりと抜けて一気に峠を駆け降りてきたのだ。私だから、できたのだよ。ああ、このうえ、私に望みもうな。放っておいてくれ。どうでも、いいのだ。私は負けたのだ。だらしがない。笑ってくれ。王は私に、ちよっと遅れてこい、と耳打ちした。遅れたら、身代わりを殺して、私を助けると約束した。私は王の卑劣を憎んだ。けれども、今になってみると、私は王の言うままになっている。私は、遅れていくだろう。王は、独り合点して私を笑い、そうしてこともなく私を放免するだろう。そうになったら、私は、②死ぬよりつらい。私は、永遠に裏切り者だ。地上で最も、不名誉の人種だ。セリヌンティウスよ、私も死ぬぞ。君と一緒に死なせてくれ。君だけは私を信じてくれるにちがいない。いや、それも私の、独りよがりか？ ああ、もういつそ、悪徳者として生き延びてやろうか。村には私の家がある。羊もいる。妹夫婦は、まさか私を村から追い出すようなことはしないだろう。正義だの、信実だの、愛だの、考えてみれば、くだらない。③人を殺して自分が生きる。それが人間世界の定法ではなかったか。ああ、なにもかも、ばかばかしい。私は、醜い裏切り者だ。どうとも、勝手にするがよい。④やんぬるかな。――四肢を投げ出して、うとうと、まどろんでしまった。

ふと耳に、潺々、水の流れる音が聞こえた。そつと頭をもたげ、息をのんで耳を澄ました。すぐ足もとで、水が流れているらしい。よろよろ起き上がって、見ると、岩の裂けめから滾々と、なにか小さくささやかながら清水が湧き出ているのである。その泉に吸い込まれるようにメロスは身をかがめた。水を両手ですくって、ひと口飲んだ。ほうと長いため息が出て、夢から覚めたような気がした。歩ける。行こう。肉体の疲労回復とともに、僅かながら⑤希望が生まれた。義務遂行の希望である。わが身を殺して、名誉を守る希望である。斜陽は赤い光を、木々の葉に投じ、葉も枝も燃えるばかりに輝いている。日没までには、まだ間がある。私を、待っている人があるのだ。少しも疑わず、静かに期待してくれている人があるのだ。私は、信じられている。私の命なぞは、問題ではない。死んでおわび、などと気のいいことは言っておられぬ。私は、信頼に報いなければならぬ。今はただその一事だ。⑥走れ！ メロス。私は信頼されている。私は信頼されている。先刻の、⑦あの悪魔のささやきは、あれは夢だ。悪い夢だ。忘れてしまえ。五臓が疲れているときは、ふいとあんな悪い夢を見るものだ。メロス、おまえの恥ではない。やはり、⑧おまえは真の勇者だ。再び立って走れるようになったではないか。ありがたい！ 私は、正義の士として死ぬことができるぞ。ああ、日が沈む。ずんずん沈む。待ってくれ、ゼウスよ。私は生まれたときから正直な男であった。⑨正直な男のままにして死なせてください。

(「走れメロス」より)

問一 この作品の作者名を漢字で書き、代表作品を次から一つ選び記号で答えなさい。

ア トロッコ イ 源氏物語 ウ 坊ちゃん エ 雪国 オ 人間失格 「1点×2」(知識)

問二 傍線部①「無心」のこの場面での意味を次から選び記号で答えなさい。「2点」(読む)

ア 何の工夫もなく イ 何の苦勞もなく ウ 何の雑念もなく エ 何の不便もなく

問三 傍線部②「死ぬよりつらい」とあるが、どんなことが「死ぬよりつらい」のか。次から選び記号で答えなさい。「2点」(読む)

ア 卑劣な人間だと思われること。 イ 友人が殺されること。
ウ 今からさらに走り続けること。 エ 王に裏切られること。

問四 傍線部③「人を殺して自分が生きる。それが人間世界の定法ではなかったか」とあるが、この時のメロスの様子として最も適切なものを次から選り記号で答えなさい。「2点」(読む)

ア 悪い考えを抱いてしまった自分を責めている。
イ 自己中心的な考えを正当化しようとしている。
ウ どうしていいか分からずに神に助けを求めている。
エ 新しい考えに救われた気持ちになっている。

問五 傍線部④「やんぬるかな」はどのような気持ちから発した言葉か。次から選り記号で答えなさい。

ア 心を決めてほっと安心している気持ち。 イ 何もかもうまくいくと期待する気持ち。
ウ どうしたらよいかと悩む気持ち。 エ どうしようもないとあきらめる気持ち。

「2点」(読む)

問六 傍線部⑤「希望」について、次の問いに答えなさい。

1 どのような希望が生まれたのか。文章中から七字で二つ抜き出しなさい。「1点×2」(読む)
2 希望が生まれたことを情景描写によって表した一文を文章中から抜き出し、はじめの五字を書きなさい。「2点」(読む)

問七 傍線部⑥「走れ! メロス」とあるが、このときのメロスの気持ち最強く表現された一文を、これより前の部分から抜き出して答えなさい。「2点」(読む)

問八 傍線部⑦「あの悪魔のささやき」とは、メロスがどのように考えたことを表しているか。

「友人」「自分」という言葉を必ず使って二十字以上二十五字以内で書きなさい。「3点」(書く)

問九 傍線部⑧「お前は真の勇者だ」と対照的な内容の表現を文章中から二つ、それぞれ一文で抜き出して答えなさい。「1点×2」(読む)

問十 傍線部⑨「正直な男のままにして死なせてください」という言葉に込められているメロスの心情を、「信頼」「命」という言葉を必ず使って、三十五字以上四十字以内で書きなさい。「3点」(書く)

問十一 次の各文は、この場面でのメロスの心情や行動の移り変わりを表したものであるが、これを文章の順にしたがって並べ替えなさい。「完答2点」(読む)

ア 気力と体力を取り戻し、約束を守る希望をもって走ろうとしている。
イ 何も信じられなくなり、投げやりな気分深く沈んでいる。
ウ 約束が守れないのは自分のせいではないと、ひたすら弁解している。
エ 自分の行動が、結果的に王の言ったとおりになることを嘆いている。

問十二 次の生徒同士の話し合いの様子を読み、後の問いに答えなさい。

大井 この物語は、「メロスは、・・・」のように三人称で語られていたよね。それなのに、この場面では、「私は、・・・」のようなメロスの一人称での語りが多いよ。「おい」だけに。
杉浦 おいおい、またそのネタかよ……。まあいいや。時を戻そう。この場面は、大井くんが指摘したように、なぜ「私は、・・・」のような表現になったんだろう。
秋月 僕は、気持ちの揺れ動きをより伝えるためだと思う。メロスが心の内を語っているように書くことで、A という効果があると思うな。
加茂 私は、メロスの心の中のB 部分を見せられるからだと思ったよ。メロスの人間らしいところが見えて、作品に深みが出るということだと思う。
野村 そうそう。そういうことがいたかった!
杉浦 君はまだ何も言っていないだろう!
(野村くんお手上げ)
野村 ということは、「走れメロス」という言葉は誰によるものなんだろう?
秋月 おお、それはなかなか興味深い問いだね。次はそれについて話し合ってみよう。
(野村くんうれしそう)

1 空欄Aに入る言葉を次から選り記号で答えなさい。「2点」(読む)

ア メロスの軽やかな心の移り変わりを楽しむことができる
イ 楽しげなメロスの様子が読者が混乱させられる
ウ メロスの優柔不断な本性が見えて、人物像がくずれる
エ 場面に臨場感が出て、読者がメロスの変化に引き込まれる

2 空欄Bに入る言葉(形容詞または形容動詞で一単語)を考えて書きなさい。「2点」(読む)

点

点

四												三												二				一												
十二	十			九	八		六		一	十四	十二	十		八	七		六	二		一	三	一	16	11	6	1														
1	な	る	私	私は、永遠に裏切り者だ。	延	友	2	1	作者名 太宰治	年	列	エ	で	母	1	に	ら	小	「回れよ回れ」という命令形と繰り返し返し	か	読	1	1	はげむ	蓄積	鉛筆	寝坊													
エ	ど	こ	を		び	人	斜	義		の	車	十二	い	が	の	2	し	メ		さ	せ	者	ウ					イ	イ											
2	喜	と	信		よ	を	陽	務		ふ	の	染	い	亡	針	て	モ	な		て	が	ア	ア					ウ												
弱い／悪い／醜い	ん	が	頼		う	裏	は	遂		っ	中	ま	か	く	ニ字 春	表	を	こ		読	想		お					3	3	17	12	7	2							
	で	で	し		と	切	赤	行		て	か	ず	ら	な	雨	現	し	と		お	像		ア					オ	4	4	だいたい	酪農	販売	参拝						
	捨	き	て		考	っ	七	の		い	ら	た	会	っ	九D	す	て	で		と	力		イ					エ	4	5										
	て	る	く		え	て	私は、信頼に報いなければならぬ。	希望		る	揺	だ	い	て	オ	、	も	こ		を	こ		ろ					四一	ア	5					6					
	よ	な	れ		た	自		名		帽	れ	よ	た	し	ま	E	こ	五		心	は		た					イ	6	カ					7	ア	2	18	13	8
	う	ら	て		こ	分		誉		子	て	ふ	い	ま	う	A	と	七		の	揺		ら					2	ア	7	ア	7	ニ一	カ	7	ア	7	2	13	8
	。40	ば	い		と	だ	を	に		見	十三	と	う	前	。40	七	五	揺		三	寒		。20					四	オ	五	温	度	差	なる	20	15	10	5		
	十一	、	る	。25	け	生	守	え	る	エ	い	前	う	思	い	目	七	七	の	オ	五		温	度	差	なる	20	15	10	5										
ウ↓エ↓イ↓ア	自	人	私は、醜い裏切り者だ。	き	希望	と	え	向	30	え	日	葵	を	、	少	七	七	の	オ	五	温	度	差	なる	20	15	10	5												
命	報	い				て	い	る	。35	少	七	七	の	オ	五	温	度	差	なる	20	15	10	5																	